

## 第5回松阪市環境基本計画策定委員会

日時 平成18年2月2日(木) 13時00分～15時30分



場所 飯南地域振興局 2階会議室

### 議題

- (1) 飯南地域振興局 中村生活環境課長あいさつ
- (2) 飯南地域の生ゴミ堆肥化処理システムについて、生活環境課から説明
- (3) 振興局裏堆肥舎にて見学、及び体験
- (4) 次回委員会について(案)

出席者 13名

策定委員会委員 7名

西 孝、石川通子、石村武紀、川村敏也、小坂滋子、水本和雄、松本美智

飯南地域振興局生活環境課 2名

中村生活環境課長、野呂

事務局 4名

前川環境課長、三田環境推進担当主幹、谷岡環境推進担当主査、若山環境推進係主任

### 質疑等の内容

#### (1) 飯南地域振興局 中村生活環境課長あいさつ

「皆さん、こんにちは。今日は遠いところありがとうございます。飯南町は全域の9割を山林が占めています。私が小さい頃は雑木林がたくさんありましたが、今ではほとんどが杉と檜の人工林となっています。木材事業が低迷している今、山は荒廃しつつあります。山が荒れるということは、人が入らないということで、下刈りや間伐といったことが出来ないわけです。人工林は地面の地表にしか根を張らないため、風害に非常に弱く、風倒木が多くなります。下刈りをしないと地力が強くなり、杉の下草が生えないため地面の弱さが目立ち、土の保水能力、落ち葉の間に水がたくさん入り自然のダムのようなのですが、それが無いために直接水は櫛田川に流れてしまい、土の表面が削られ大きな被害が出る。間伐も、かつて間伐材の市況が良好な頃は搬出されましたが今は切捨て間伐として山へ放置され、洪水の際には流出する。こういったことが

環境に対して打撃を与える、と言っても過言ではないと思います。そのためには山の手入れをしていく必要がありますが、従事者の高齢化や後継者不足などから、山の荒廃をどのように守っていくのか。これらをこの環境基本計画で考えていただきたいと思っています。お金も大事ですが、皆さんの水と空気を守る山というのを、もう少し考えていただきたい。また、飯南には農地も約 460ha あります。農地にも保水能力があり、水田は災害時にはダムとなり、直接水が流れないような役目を持っています。やはりこちらも山林同様、後継者不足の問題を抱えています。

この生ゴミ堆肥化の取組みは、土を作って強くすることにより、おいしい野菜や作物が出来るということが一番の柱としています。また、行政としてはゴミの減量化も図れます。町の可燃ゴミの 3 割を占める生ゴミが年間 28t も減少し、廃棄物にかかる予算も少なくてすみます。農地の土作り、これは昔の第一次産業のように、原点に立ち返った感覚で農業を守っていく、というのを私どもの施策の一つとして考えています。ゴミが有効利用され、リサイクルされることで、循環型社会のサイクルの一角を自分で認識できる。住民 130 人が 3 ヶ月に 1 回、裏の堆肥置き場に集まり、行政も加わって共同で行っています。これが一つのきっかけとなって、環境に少しでも目を向けてもらえるようになれば、と思いながら取り組んでいます。」

## (2) 飯南地域の生ゴミ堆肥化処理システムについて、生活環境課から説明

- ・平成 12 年度に開始して、1 サイクルは 6 ヶ月。
- ・最初の 3 ヶ月は、粃殻、米ぬか、山土、前回残った堆肥、落ち葉を混ぜたものに、水気を切った生ゴミを重ねていく作業を、自宅で衣装ケースを使って行う。
- ・次の 3 ヶ月は、飯南地域振興局の堆肥舎へ持ち寄り、山にして切り返す攪拌作業を 1~1 ヶ月半、何もせず寝かす期間が 1 ヶ月~1 ヶ月半。
- ・以上の作業で出来上がった完熟堆肥を、約 130 人ほどの会員で分けて、各自が畑や家庭菜園で使っている。
- ・町中では難しい点もあると思うが、良いことなので広めていってもらえればと思う。

### 〔質疑応答から〕

委員：生ゴミの注意点は？

職員：とにかく水気を切ること。また、かき混ぜると腐るので、上に置いていく感じで乗せていくこと。

委員：家庭で最後まで出来ないか？

職員：発酵するには高い温度が必要で、それには生ゴミの量が多いほど良い。そのため、衣装ケースで 10 ケースくらいは集まらないと温度を保ちにくいので、なるべく集まった方がいい。

委員：町中では落ち葉が手に入りにくい。

職員：公園などに落ちているものを使うなどして欲しい。

委員：良い事ばかりだが、悪い事は？

職員：最初の頃は腐らせてしまい、変な臭いがした。重労働な作業なので、最近はグループの高齢化が問題。

委員：会員を増やしていく予定は？

職員：市民の中でやる気のある人が、声をかけあい広めている。町の祭りでも、説明するコーナーを設けている。

### (3) 振興局裏堆肥舎にて見学、及び体験

・実際に堆肥に触れ、実物を見学。

・粃殻、土、落ち葉等を混ぜたものを各委員が持ち帰り、自宅にて生ゴミ堆肥化に取り組むこととする。





#### (4) 次回委員会について (案)

- ・ 環境に対する取組みを行っている松阪市の企業の一つとして、第三銀行の取組みを伺う。
- ・ 3月2日1時半から、第三銀行3階会議室にて。